

図書館だより

第33号

八千代市立大和田図書館 482 - 3240

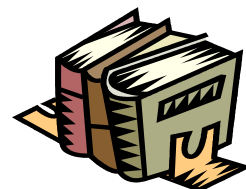
八千代台図書館 482 - 0912

勝田台図書館 484 - 4946

緑が丘図書館 489 - 4946

http://www.library.yachiyo.chiba.jp

新たな本との出会いの場所 本の展示コーナー



図書館では、毎月新たに図書館に入った本を“新着図書案内”としてまとめています。また、予約が多い本を“読まれています”として館内に掲示しています。ご覧になっている方も多いと思います。

新刊書でも予約が多い本でもないけれど、お薦めしたい、手にとっていただきたい、そんな本を毎月『テーマ』を決めて各館で工夫をこらした企画展示を行っています。

企画展示のテーマは、季節に関するものや、生誕 年やその時に話題になったことなどから選んでいます。昨年は「白洲正子生誕100年」「平城京 奈良遷都1300年」今年のはじめには「日本のテレビ58歳 地上デジタル放送の時代へ」をテーマに選びました。



8月には緑が丘図書館では「小笠原諸島」と「平泉」の世界遺産登録を記念してこれまでに登録された国内の世界遺産に関する本を、大和田図書館でも「日本の世界遺産」をテーマに本を展示しています。

また、勝田台図書館では「惑星探査機ボイジャー」をテーマに「宇宙」や「惑星」「太陽系」などについての本を展示しています。

八千代台図書館では「あなたのセカンドライフ - 50歳, 60歳のあなたへ」をテーマに選び、豊かなセカンドライフを楽しむために役立つような本を展示しています。



普段目にふれる事のない本を企画展示をきっかけに手に取ってみるのも、新たな本との出会いです。

各館の児童室ではおり紙やきり紙で花や昆虫などを作って壁面を飾ったり、おすすめの本のリストに合わせての展示もおこなっています。



子どもたちが児童室に来るのが楽しくなるような展示を考えて行っていますので、ぜひお立ち寄りください。



「小笠原諸島」「平泉」が世界遺産に登録されました

6月19日(日)から6月29日(水)まで、フランスのパリで開催された第35回ユネスコ世界遺産委員会において、「小笠原諸島」が世界自然遺産に、「平泉 仏国土(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群」が世界文化遺産に登録されました。これで日本国内では、12件の文化遺産と4件の自然遺産、合計16件が登録されたことになりました。

世界遺産についての本

・ユネスコ世界遺産 1~13巻

講談社

・世界遺産ガイド

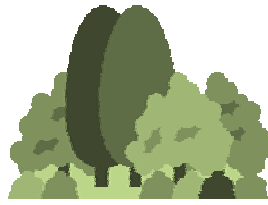
世界遺産総合研究所 / 編

シンクタンクせとうち総合研究機構

・世界遺産年報

日本ユネスコ協会

わたしの一冊



森にすむヤマネの話 ~カメラ超しの30年~

西村 豊 / 著 講談社 2009

ヤマネという動物を知っていますか。体長が10センチ足らず、体重25グラム程度のネズミみたいな(仲間だが)カワイイ動物だ。日本の固有種に近い存在で、森の守り神として古くから大切にされてきたそうだが、森林伐採の進行で生息数が減っており、天然記念物に指定されている。

作者の西村豊氏はそのヤマネを20年以上追いつけている。詳しい経歴は著書に譲るとして、氏の「ねぼすけヤマネ」(残念ながら絶版 図書館には蔵書しています。)なども是非読んでみてください。この小さな動物が絶滅の危機にあることは、なんとも言えない気分になるかもしれない。もちろん、感情まかせに自然保護について言うつもりではない。人にはそれぞれ立場というものがあるのだから。

しかし、人は考え、行動することができる素晴らしい能力を持っている。たとえば、本書に掲載されているネズミ捕りにかかって死んでしまったヤマネの写真を見てどう思うだろうか。

保護などと大風呂敷を広げるつもりはないが考え方一つで救えることもあるのだ。人間が先か、自然が先か。昔から堂々めぐりのように繰り返されてきた問答だが、一つ確実なのは人の活動と欲は、自然の復元力を超えてしまっているということかもしれない。それでもなお膨張を望んでいる人類の様子を、ヤマネの瞳はどのような思いで見つめているのだろうか。(I.T)

図書館の節電にご協力を・・・

東日本大震災から早5か月が過ぎました。地震・津波・原発と今まで経験したことのない予想外の事態に、日本は“安全で安心な国”という認識が揺らぎかけています。

図書館では、原発や放射能について書かれた本や災害にあった時にどうしたらよいのかなど日頃から心がけておきたいこと、防災についての本などをたくさん所蔵しています。また、緑のカーテンや工夫して節電する方法について書いてある本もあります。ぜひ、ご活用ください。まずは、身近なエコ生活を心がけましょう。図書館の節電にご協力ください。

図書館で調べると・・・



12の月にはそれぞれ異称があります。

9月は「長月」です。この月から夜がしだいに長くなる「夜長月」が語源といわれていますが、そういえば他の月にも違う名前があります。

図書館の本で12の月、それぞれの異称がでているものをさがしてみました。「暦」をキーワードに検索すると分類番号【449】がでてきました。実際に本棚で本を数冊、手に取ってみると「こよみ読み解き事典」「和暦で暮らそう」という本のっていました。それをみると9月は「長月」だけではなく「菊月(きくづき)」とか「色取月(いろどりづき)」とも呼ばれることがわかります。また、暦の本のほかに意外に身近な本にも載っていました。国語辞典や古語辞典です。これらの辞典類には参考資料として「月の異称」などが載っているものもありますのでご活用ください。

<参考資料>

『現代こよみ読み解き事典』	柏書房
『和暦で暮らそう』	小学館
『新撰 国語辞典』	小学館
『古語類語辞典』	三省堂



ふるさと八千代豆知識



やちよ検定 はじまり編

昭和29年、(1)____町と(2)____村が合併して八千代町になり、さらに同年9月(3)____村を合併、人口1万5千人の町となりました。

(1)、(2)、(3)には今も使われている地名が入ります。

八千代町は昭和(4)____年に1月1日に市制を施行して八千代市となりました。千葉県内で21番目の市です。当時の人口は約(5)____万1千人でした。現在の人口は約19万3千人です。

(4)と(5)には数字が入ります。

市制が施行された年には、ユニバーシアード東京大会が開催されました。

<32号のやちよ検定「新川にかかる橋」のこたえ>

1. ゆらゆら橋
2. 村上橋
3. 新川大橋
4. 大和橋
5. なかよし橋

<編集後記>

お盆をすぎた頃から急に、涼しい風が吹いて秋の気配を感じるようになりました。このまま、秋になるのか、それとも暑さが再び戻ってくるのか。節電の夏も折り返しにはいりました。体調に気をつけながら、実りの秋を迎えましょう。

平成23年8月

発行：八千代市立図書館

編集：勝田台図書館

住所：八千代市勝田台2-5-1

やちよ検定の答えは「図書館だより34号」に掲載します。